

経営比較分析表（令和5年度決算）

青森県 新郷村

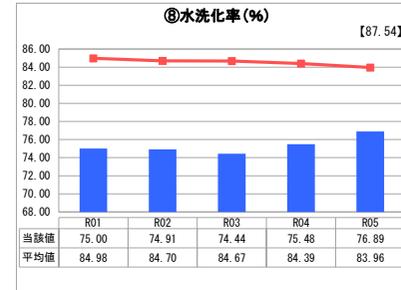
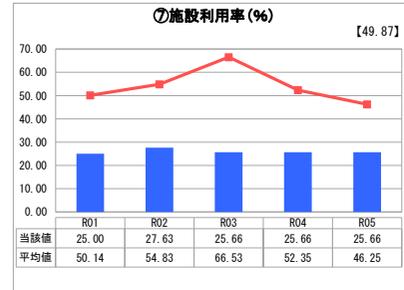
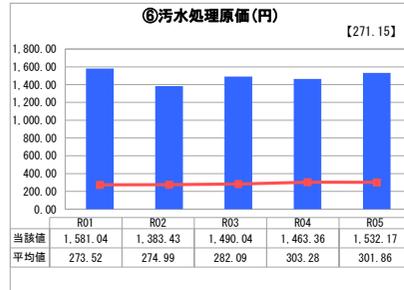
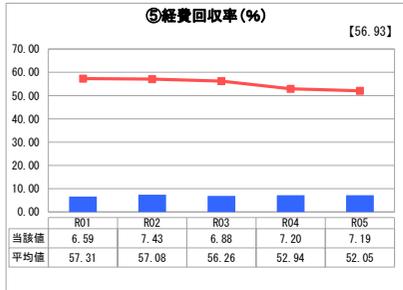
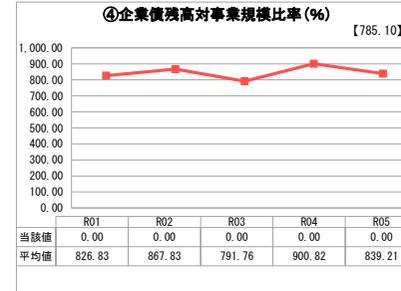
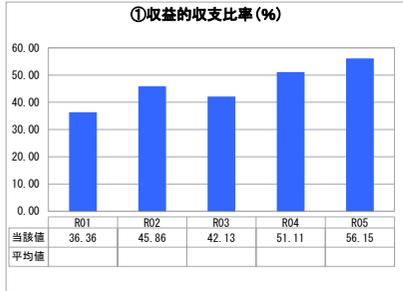
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	11.98	100.00	1,760

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
2,129	150.77	14.12
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
251	0.39	643.59

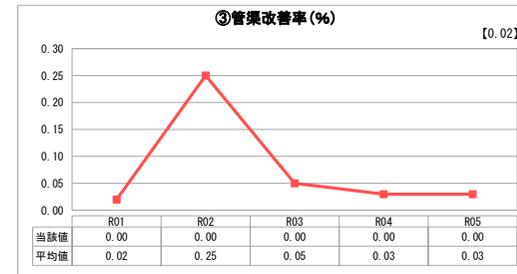
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益の収支比率は、55%を超えて向上したが依然として赤字収支である。理由としては、処理人口が少ない反面、地方償還金が高いことが考えられるが、償還額が減少しているため比率が向上していると考えられる。

企業債残高対事業規模比率は、H27以降は地方債の償還を全額一般会計で負担することを定めているため、グラフ上には表示されていないが、地方債償還が進んでいることから減少傾向にあるものの、類似団体平均の約3.5倍の数値となっている。

(R5当該値(参考): 2951.7%)

これは処理人口1人当たりの管渠延長が長く、建設コストが高かったことに起因すると考えられる。経費回収率は約7.2%と、類似団体平均と比較し著しく低く、汚水処理原価は平均の約4.8倍となっている。いずれも料金収入の低さと維持管理費の高さが理由にあげられる。

施設利用率は25%で、類似団体平均の2分の1と低く、処理水量が当初計画より少ないことが分かる。水洗化率は75%と微増傾向となっているが、類似団体平均より7ポイント低く、未接続世帯について、より一層の加入促進対策を進める必要がある。

2. 老朽化の状況について

建設から23年経過し、管路施設は更新時期には至っていないものの、処理施設は機械・電気設備を中心に老朽化が進んでいると考えられる。

平成30年度に設備の機能診断を実施し、令和元年度には最適整備構想を策定しており、その後施設の改築更新を進めることとしている。

全体総括

処理区域内における人口減少や高齢化により、接続率が停滞し、営業収益が上がらない状況にある。対策として、未接続世帯に対する加入促進活動をより一層強化するとともに、料金水準の見直しにより、収益の改善を図る必要がある。

また、汚水処理費を低減させるため、処理場の運転方法や、維持管理委託の見直しについて検討する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。